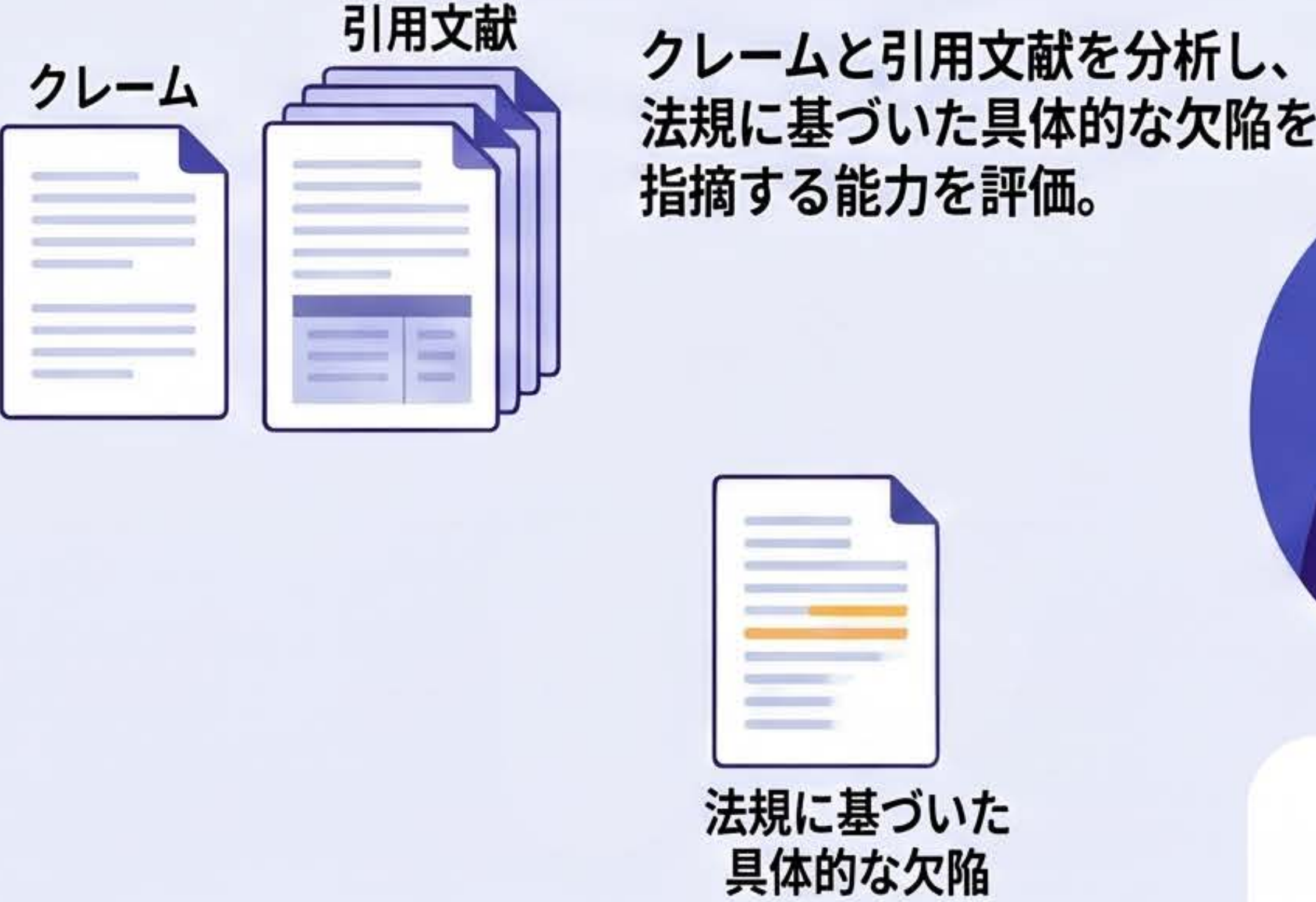


PatRe: 特許審査の全工程をモデル化する次世代LLMベンチマーク

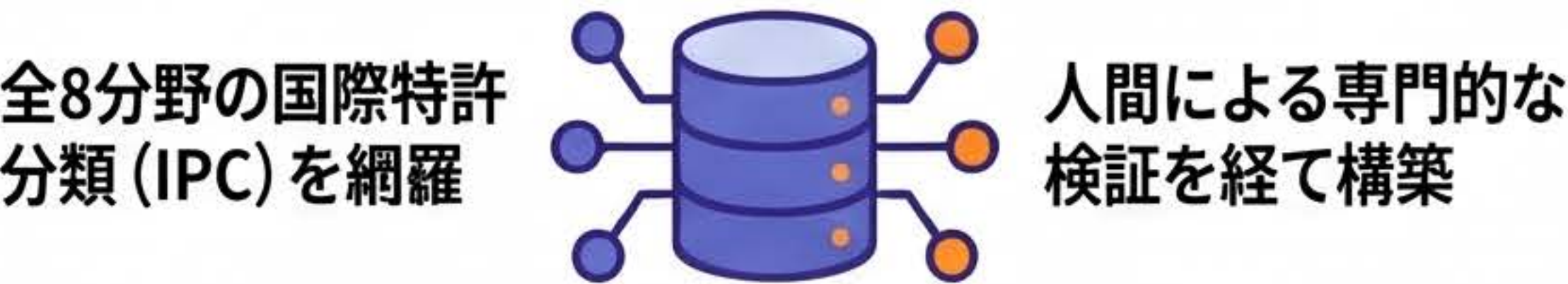
審査官による拒絶理由通知 (OA) の生成



出願人による反論 (Rebuttal) の生成



480件の最新特許データによる多角的な評価



実験で判明したLLMの能力と課題

「攻め (審査)」より「守り (反論)」に長けるLLM



全モデルにおいて、自ら問題を発見する審査タスクより、提示された拒絶に答える反論タスクで高いスコアを記録。

厳格すぎるバイアスと「捏造」の発生



本来認められるべき出願に対しても、存在しない欠陥を捏造して拒絶してしまう「過度な批判性」が課題。

法的条文の適用における不一致



特許適格性 (\$101) や新規性 (\$102) でミスが多く、複雑な法的推論には限界がある。